

第2回 宮城県における復興祈念公園基本構想
検討調査有識者委員会 資料
【県内他地域との連携について】

平成25年12月10日

○多大な人的被害と甚大な津波被害があったことを後世に伝えたい

- ・それぞれの自治体で多くの方が犠牲となった
- ・宮城県全体では全国の6割にあたる11,752名もの尊い命が失われた
- ・自治体の立地場所により被害状況は様々
- ・宮城県では、「三陸リアス式海岸」、「仙台湾平野部(都市型)」、「仙台湾平野部(地方型)」といった特徴の異なる津波被害が発生した



「三陸リアス式海岸」
津波の“異常な高さ”
“驚異的な強さ”



「仙台湾平野部(都市型)」
津波の“異常な浸水深”
“多様な流出物”



「仙台湾平野部(地方型)」
津波の“拡がり”
“耕作地への浸水”
※写真提供: 仙台市

○手を合わせて祈ることのできる場所が必要

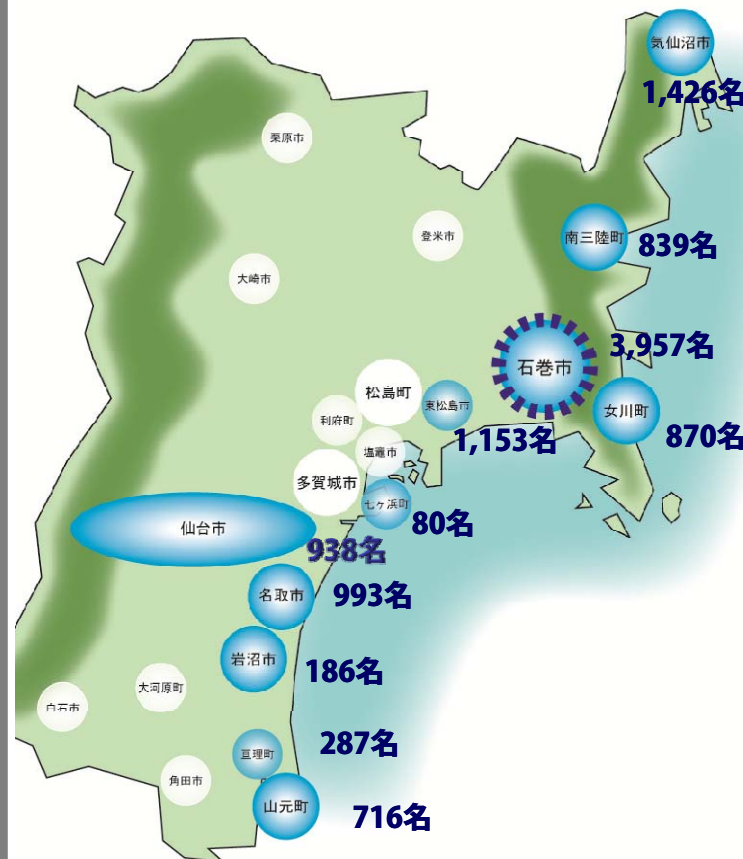
- ・県内各地では震災遺構などに今も絶やすことなく線香や花が供えられている



出典: Yahoo! Japan
東日本大震災写真保存プロジェクト

■沿岸部の被害状況

- ・特に被害の大きかった沿岸11市町において県全体の約97%にあたる11,445名が犠牲となった



■沿岸自治体の死者・行方不明者数
宮城県危機対策課 平成25年10月31日現在

○津波により大きな被害を受けた沿岸11市町では復興祈念公園の整備が検討されている
 ○これらの計画では、犠牲者への追悼・鎮魂の場の整備、津波被害の記録と教訓を後世に伝えるための遺構の保存などが検討されている

■復興祈念公園の計画地

市町名	地区名
気仙沼市	鹿折地区(安波山周辺)
南三陸町	志津川地区
女川町	女川浜地区
石巻市	南浜地区
東松島市	野蒜地区
七ヶ浜町	菖蒲田浜地区
仙台市	荒浜地区
名取市	閑上地区
岩沼市	相野釜地区(千年希望の丘)
亘理町	荒浜地区
山元町	坂元地区(中浜小周辺)

※検討中のものを含む

■各地の復興祈念公園における整備コンセプト

- ・犠牲者を**追悼・鎮魂**する
- ・津波被災の記憶を**後世に伝える**
- ・遺構や津波の痕跡を**保存伝承**
- ・**復興のシンボル**を形成
- ・津波に対して安全な**まちづくりの象徴**
- ・地域の**防災学習の場**となる公園
- ・築山を整備して**防災機能**を強化



保存が検討されている荒浜小
 ※出典:仙台市資料

■実現に向けた動き —岩沼市千年希望の丘—

- ・震災廃棄物を活用した丘を津波の力の減衰や避難場所として活用
- ・平成25年度より事業が開始され、6月には植樹祭が実施された



第1号の希望の丘
 ※出典:岩沼市HP

(復興祈念公園のネットワーク化によって)

○みやぎが心ひとつに犠牲者を慰霊

- ・核となる南浜公園での追悼式と時を同じくして、各地の復興祈念公園で追悼式を実施



- ・みやぎ全体が犠牲者に対する慰霊の思いを共有する



東日本大震災犠牲者石巻市追悼式
※石巻市提供

○悲劇を繰り返さないために様々な津波被害状況を体感

- ・常に津波を意識してきた地域(リアス式海岸部)と、津波を意識していなかった地域(仙台湾低平地部)では、被災前のまちづくりの考え方が異なっていた
- ・それぞれの地形特性によって津波の状況は全く異なる



- ・津波の防御には限界があるため、各地を巡り、地域により異なる被災状況を体験し、津波に対する正しい知識を身につけることが最大の防災となる

○県内各地で復興祈念公園の整備が検討されているのを受け、宮城県ではこれらの
ネットワーク化を検討している

■復興祈念公園の計画地とそのネットワーク化



■ネットワークの中心

- 石巻は約4千名もの犠牲者が発生した**国内最大の被災地**
- 石巻は県内の多様な津波被害の特徴を併せ持つ**象徴的な場所**



南浜地区に発生した甚大な被害
※出典: 石巻百景

○南浜地区を宮城県の復興祈念公園ネットワークにおける**中核**と位置付け

○「**県域での犠牲者の追悼・鎮魂の場**」

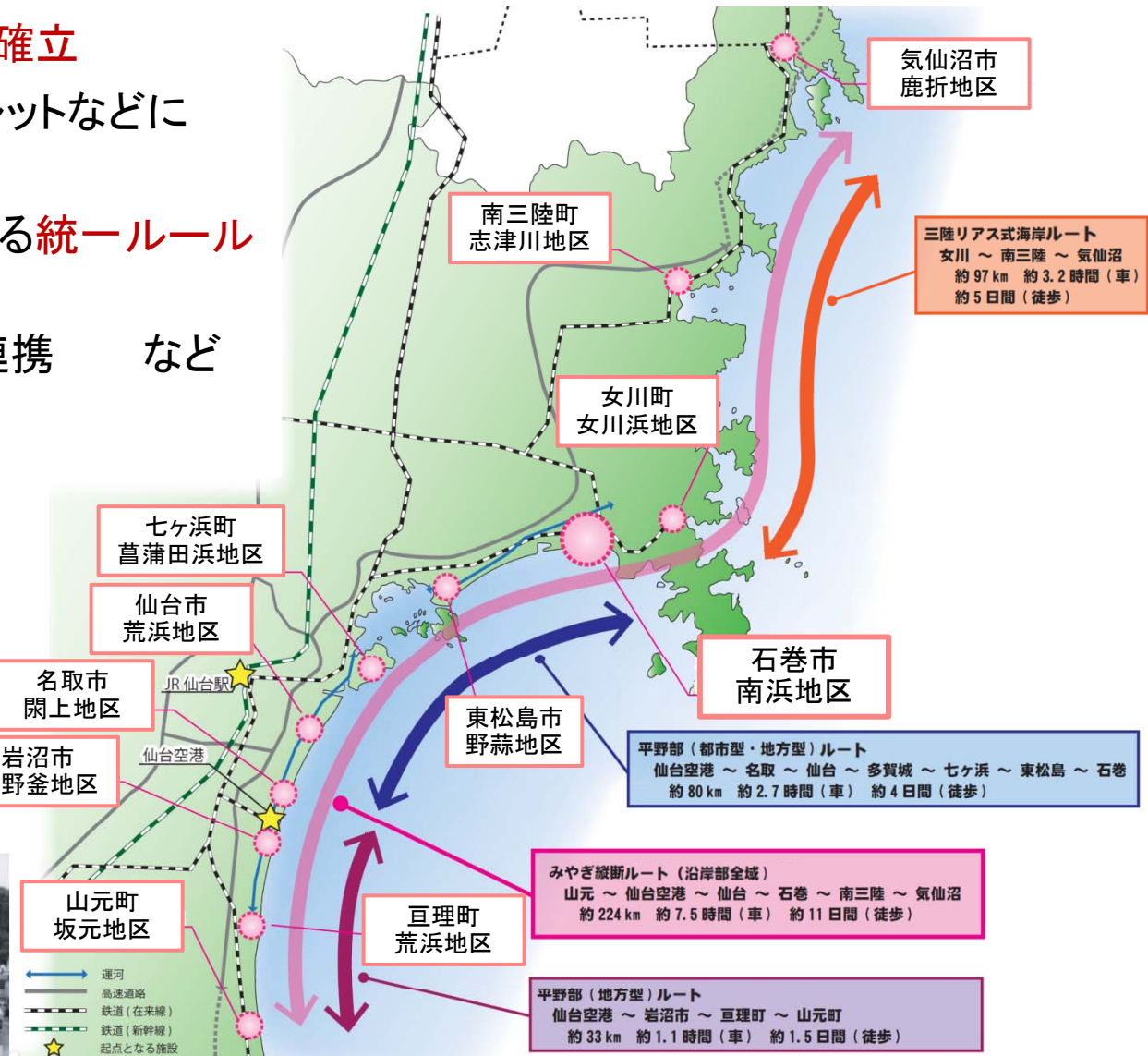
○「**みやぎの復興進展の象徴**」

として県と市が協働で公園整備を決定

○追悼広場など中核となる施設整備を国へ要望

- 祈念公園を巡る**ルート**の**確立**
- ポータルサイトやパンフレットなどによる**情報提供**
- ネットワークルートにおける**統一ルール**の**構築**
- 貞山運河復興計画との連携 など

- ルート案内サインの設置
 - ・ ルートを示すサインを設置
 - ・ 共通化されたデザインの採用



■ ネットワークルートのイメージ